

平成20年3月12日

## GPS（全地球測位システム）を活用した「運転士支援システム」を いよいよ3月17日から大手私鉄で初めて導入します

近鉄では、安全を日夜支える運転士の心理的負担の軽減を図ることで、オーバーラン等の運転士のミスを防ぐ「運転士支援システム」について、昨年より導入準備を進めてまいりましたが、この度、3月17日より、一斉導入する運びとなりましたのでお知らせします。

このシステムは、GPS技術を利用して列車の位置特定を行い、その位置情報を基に、音声や発光表示等の方法で、運転士に対し運転支援（注意喚起）を行うものです。

具体的には、運転操作のタイミングを逸しないよう、出発から次の停車駅との間で計4回、発車直後に、次の停車駅名の確認を、ブレーキ操作を開始すべき地点で、注意喚起を、ホーム手前で、列車の編成両数を、ホーム中央付近で、停止の注意喚起を行います。

また、速度監視機能を設け、制限速度を超えないように音声と発光表示で注意喚起を行うほか、徐行区間の情報発信なども行うことが可能です。小型ゲーム機程度の大きさの端末装置を運転士が携帯し、担当する列車の運転席に着脱して使用します。詳細は以下のとおりです。

記

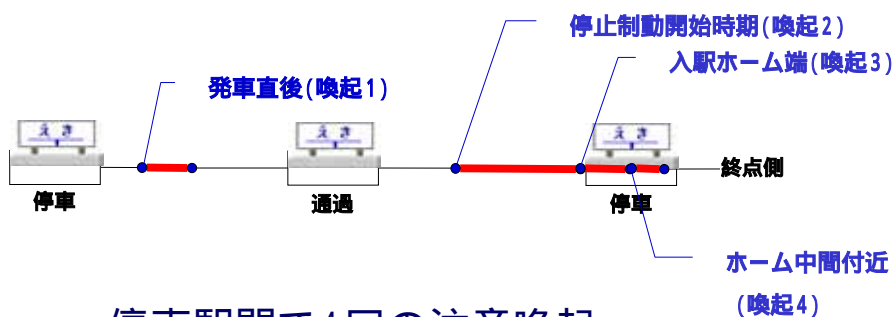


- (1) 名称 「運転士支援システム」
- (2) 導入日 平成20年3月17日(月)
- (3) 対象列車 ワンマン列車等の一部列車を除く全列車
- (4) その他

- ・本システムは、当社と近鉄車両エンジニアリング(株)が共同で特許取得済みです。また同業他社に対して、近鉄車両エンジニアリング(株)が販売・導入支援をいたします。
- ・地下駅やトンネルなどGPSによる位置情報が捕捉できない地点についても、端末にタイマー機能を持たせるほか、必要な地点に位置情報の発信機を設置することによって、連続した運転支援が可能です。

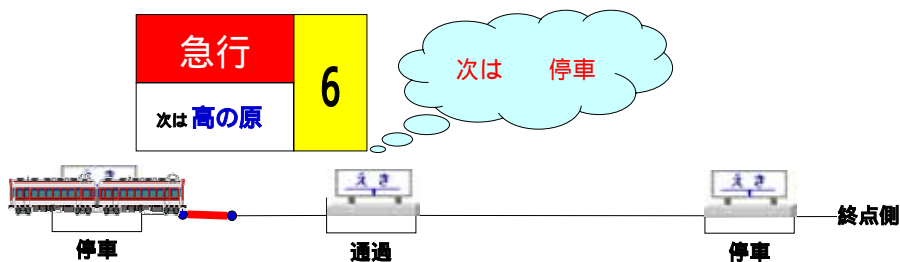
## 注意喚起の詳細

### 1-1. 駅間の注意喚起(全体概要)

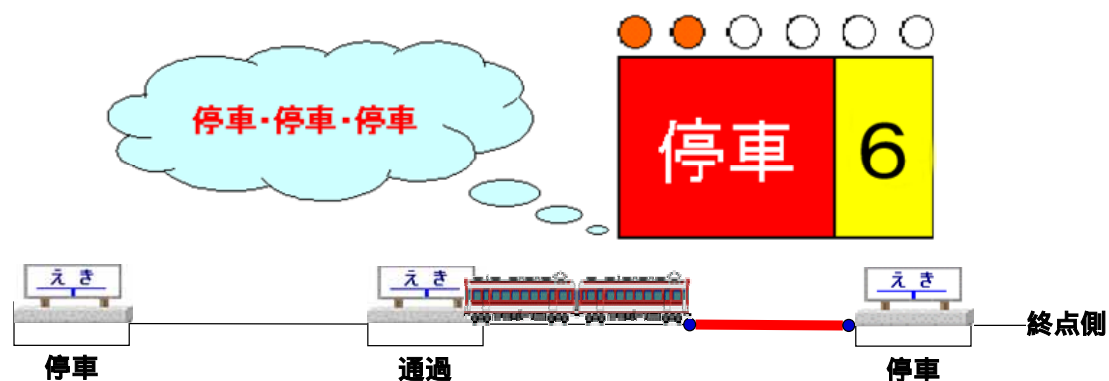


#### ◆ 停車駅間で4回の注意喚起

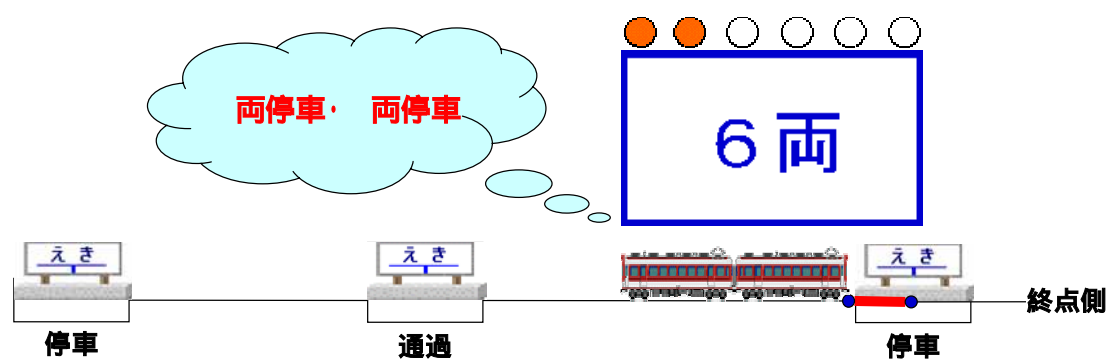
### 1-2. 駅間の注意喚起(喚起1【発車直後】)



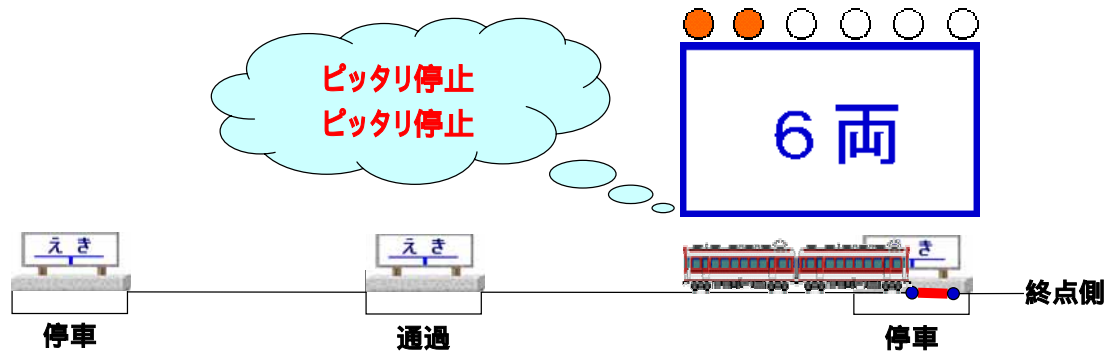
### 1-3. 駅間の注意喚起 (喚起2【停止制動開始時期】)



### 1-4. 駅間の注意喚起 (喚起3【入駅ホーム端】)



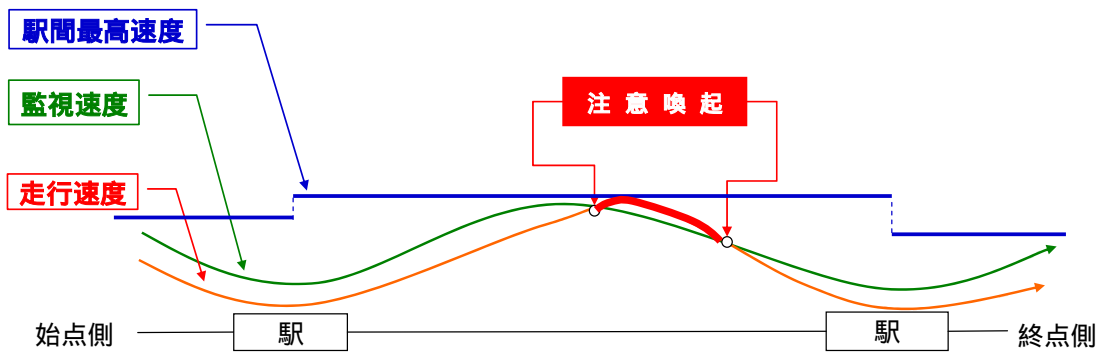
## ■ 1-5 . 駅間の注意喚起 (喚起4【ホーム中央付近】)



## ■ 2 1 速度監視機能 (常時監視)

### 走行速度を監視

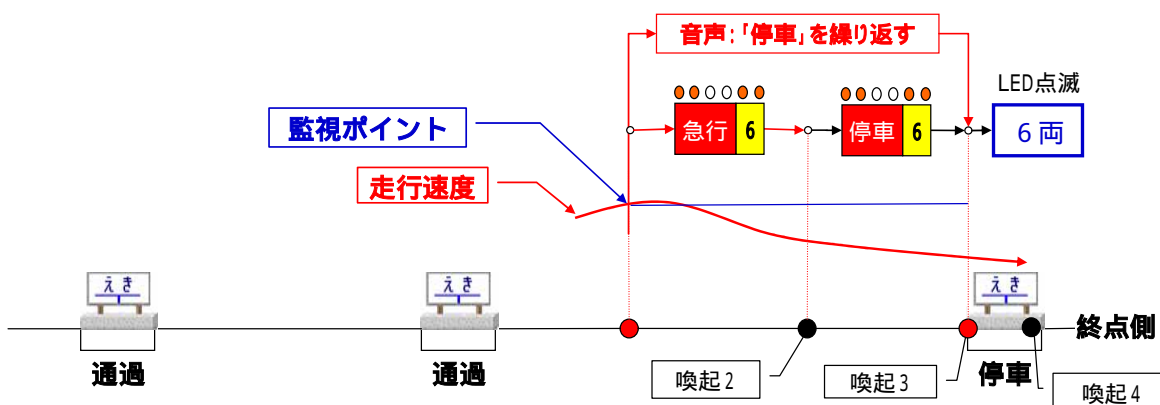
- 画面は変更せず点滅
- 監視速度以下になるまで「速度確認」の音声



## ■ 2-2 . 速度監視機能(停車限界速度監視)

停車駅手前で停車できる速度であることを監視

- 画面は変更せず画面、LEDを点滅
- ホーム中央付近まで「停車」の音声



## ■ 3 . その他の注意喚起

指定された場所で、様々なメッセージを表示

